

■令和元年度第3回（第296回）都市経営戦略会議結果概要

【日 時】 令和元年5月27日（月）午後2時00分～午後2時40分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、日野副市長、高橋副市長、松本副市長、水道事業管理者、教育長、都市戦略本部長、総務局長、財政局長、総合政策監、都市局長

【議 題】 （仮称）GCS プラン骨子案について

< 提 案 説 明 >

（仮称）GCS プラン骨子案について、都市局から次のような説明があった。

- ・ 7月3日よりパブリック・コメントを実施する「（仮称）GCS プラン骨子案」について、審議をいただくものである。
- ・ この（仮称）GCS プランは、「まちづくりガイドライン」と「個別整備計画」から構成され、個別整備計画の中には、構想実現案や駅改良計画、道路整備計画などが含まれている。
- ・ まちづくりガイドラインの目的は、基盤整備や民間開発を実施する際のルール等を定め、公民が連携して、良質な空間を形成することを目的に作成するもの。検討段階では、「まちづくりの戦略」と「都市空間形成の目標」を整理している。
- ・ 構想実現案としては、2案作成しており、これらを軸に検討を深度化していく。また、構想実現案を構成する要素として、交通広場や地下車路ネットワーク、大宮独自の基盤として提案するアーバン・パレットがある。
- ・ 道路整備計画では、交通シミュレーションを実施し、混雑の緩和効果が認められる路線として、中山道の地下バイパス化と大宮岩槻線4車線化を抽出した。
- ・ 駅改良計画としては、「公共的空間等の検討エリア」の深度化等を図るなど、引き続き鉄道事業者との協議を進めていく。
- ・ 今後のスケジュールについては、7月3日から8月2日までパブリック・コメントを実施し、今年度末には、GCS プラン案として取りまとめ、再度パブリック・コメントを経て、2020年の10月頃にはGCS プランとして策定していく予定。

< 意 見 等 >

- ・ 2階のデッキ部分に屋根がないと、雨天時の回遊性が下がるのではないかと。
→ まちづくりガイドラインの中で検討していく。
- ・ 集配車の駐停車場所をどうするかという視点も必要ではないかと。
→ 集配車は地下車路ネットワークを活用できる。ガイドラインの中で各街区の出入りの高さ等も具体化していく。

< 結 果 >

(仮称) GCS プラン骨子案については、原案のとおり了承とする。ただし、今後の事業推進にあたり、関係者と十分協議し、進めていくこと。

< 会 議 資 料 >

(仮称) GCS プラン骨子案について